



発行所
八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
大字柿岡2009
電話 4・104・114番
印刷所
石岡市寺木町
飯島印刷所
戸数と人口 (4月末)
世帯数 5,708
人口 男 15,889
女 16,720
計 32,609

秘書企画課・広報課を新設

国保条例の全部改正

第一回臨時町議会

八郷町議会第一回臨時議会は、五月一日午前十時より八郷町公民館でひらかれ、課室設置条例、国保条例の全部改正、町税条例、有線放送電話に関する条例の一部改正、保険税条例の設定、町有財産の処分など十一議案が審議され、それぞれ議決された。

調査課は廃止

課室設置条例の全部が改正され、この改正で町長事務部の課室はつぎのようになった。

一、総務課
二、秘書企画課
三、税務課
四、経済課
五、厚生課
六、保険課
七、土木課

秘書企画課

①秘書事務に関すること。②文書の收受発送に関すること。③公印の管理に関すること。④儀式に関すること。⑤庁内の規律に関すること。⑥褒賞に関すること。⑦総合開発の企画に関すること。⑧統計調査その他の調査事務に関すること。

広報課

①広報宣伝に関すること。②有線放送電話に関すること。③その他各課にわたって分掌事務の変更があり、その明細は本紙次号でお知らせする予定である。

広告放送は一日二回

有線放送電話に関する条例の一部改正では、これまで一日三回放送していた広告放送を、昼と夜の一日二回としたものである。

土地二万円 免税引きあげ

家屋三万円 免税引きあげ
税条例の一部改正では、零

国保条例が独立

国保条例の全部改正は、国民健康保険法の全文が改正施行されたので、それにもなう改正である。

国保条例の設定は、地方税法の改正によつて、これまで一般税に準じていたものが単独の条例となり、徴収の面など、はつきりしたものが、その細部にわたつて条文化して一般税と同じようになつたものである。(国保関係で今までと変つた点についての趣旨説明は、広報紙にそのつとせらる。七月八月に予定している部落座談会で説明いたします。保険課)

園部診療所を譲渡

七十五万円で桜井氏に

園部診療所は、現在桜井先生が借り受けて出張診療を行つていて、更に内部の改造等をして引き続き診療所として一層住民の利便を増進することを条件として、建物(内容品を含む)及び敷地を随意契約により、七十五万円で売却することになった。

各地区に支部を結成

社会福祉協議会本年度事業の主なものとは次のとおりである。

(一)全戸会員制となるために、各地区に支部を置き、各地の福祉事業は原則として支部単位に実施し、実費を本会より支出する。

(二)会費は一戸当り一口の年額。

(三)延人員 一、二五〇人 (うち七五〇人は川又・加生野両部落の熱心な奉仕である)

橋の主要は、倒T型、鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、T型、十二メートル、長さ四メートル、主な資材 セメント二百九十、三袋、鉄筋六トン

なを、基礎工事には長さ五米、末口十五センチの杭木が五十六本打込である総工費 七五五、〇〇〇円

写真上は、かけがえ前。中はかけがえ後、同じ場所から。下は、正面から楽しく通う小学生。

町協では、去る四月三十日昭和三十四年度の総会を八郷町公民館で開き、出席者七十余名のもとに予算、事業計画などを万場一致、原案通り可決されたが、特に本年度は全戸を会員として、町ぐるみの社会福祉事業を強力に推進することとなった。

総会終了後、引き続き理事會を開き、会長選任について審議され、万場一致で町長が会長に選出された。

町発足以来最大の橋工事

本年度より加生野部落の学区が小橋に変更され、加生野一川又線の通学道路の整備が強く要求され、第一期工事として橋のかかけえを行つた。

流域面積一八・三平方キロメートルに及ぶ広さのため、一寸した降雨でも道路に水がはまり、小学生の交通にはなほ危険なもので、柿岡地磁気観測所の開設以来の最大降雨量をもとにして橋の大きさを決定、本年一月七日に起工し、延日数百十日間をかけ、四月三十日完工した。

延人員 一、二五〇人 (うち七五〇人は川又・加生野両部落の熱心な奉仕である)

橋の主要は、倒T型、鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、T型、十二メートル、長さ四メートル、主な資材 セメント二百九十、三袋、鉄筋六トン

なを、基礎工事には長さ五米、末口十五センチの杭木が五十六本打込である総工費 七五五、〇〇〇円

写真上は、かけがえ前。中はかけがえ後、同じ場所から。下は、正面から楽しく通う小学生。

戸ノ内が一位
町の道路コンクリート
三十三年度の道路維持補修コンクリートは、去る三月三十日、議会正副議長・土木建設委員が審査員となり、出品十五点について、昨年度同様の審査基準にしたがつて慎重な審査の結果、次のように採点され、五位までの入選道路には賞状と褒賞金が贈られた。

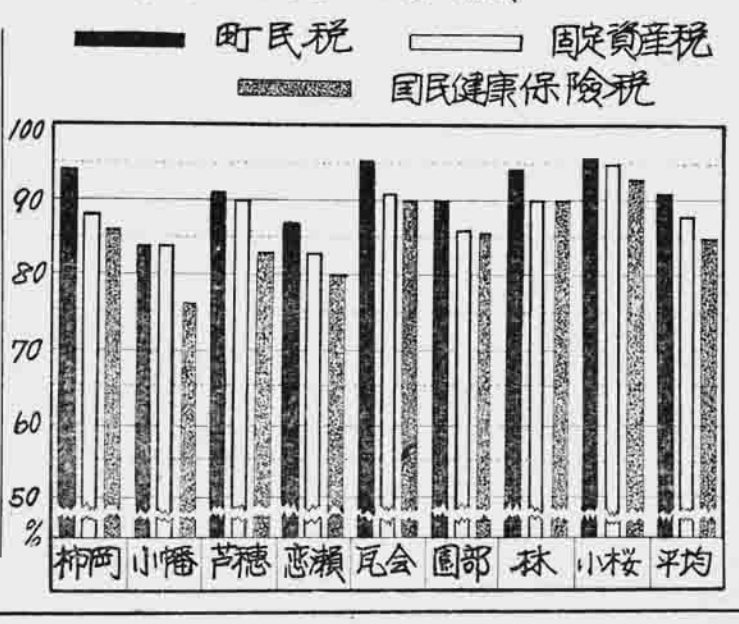
順位得点 地区 戸ノ内
①八六・八 林 区名

地区	戸ノ内	林	区名
①	八六・八	林	区名
②	八二・〇	五会	石
③	七九・四	園部	山
④	七三・六	小橋	川又
⑤	六八・六	小橋	根
⑥	六六・八	小橋	細
⑦	六六・八	小橋	中
⑧	六四・八	小橋	上
⑨	六二・八	小橋	真
⑩	六二・八	小橋	家
⑪	六二・八	小橋	宿
⑫	六二・八	小橋	岡
⑬	五七・七	小橋	月
⑭	五七・七	小橋	岡
⑮	五七・七	小橋	岡
⑯	五七・七	小橋	岡
⑰	五七・七	小橋	岡
⑱	五七・七	小橋	岡
⑲	五七・七	小橋	岡
⑳	五七・七	小橋	岡

まちなわのわだい
☆柿岡中学校北條得雄先生の母さん子さんは、部落児童会へこのほど参千円寄贈され、小倉児童会では遊戯施設として、ボールやバトミントンの用具を購入し、部落より感謝されて居る。

☆四月初旬、吉生瓜谷の酒井武雄さんは、害虫防除員手当の式千円を長男克之君の入学記念として、柿岡第二小学校に寄附した。学校では一年生用遊戯用具を購入してよろこばれている。

昭和33年度 町税納税成績 34.4.30現在





公民館

本年度の行事

八郷公民館では、五月二日審議委員会を開き、本年度の行事として、あらまし次のことをきめた。

①総務部

広報の発行(毎月)、青年・婦人幹部と主事との話し合い(七月中旬)、公民館関係者の視察研修(七月下旬・足利市・板敷山)、文化祭の開催(十一月中旬)。

②教養部

各種学級の開設(青年学級・社会学級・婦人学級など)、講習・講演・講座の開催。

③図書部

移動図書館の開設(毎月)、読者意見交換会の開催(十二月下旬)、読書グループ指導会の開催(八月中旬)、優良地区の視察(八月中旬)、図書の新築と充実。

④生活科学部

生活改善問題の発見と啓蒙・食生活・衛生・衣服・家計な

⑤産業部

農業講座の開設(八月中旬・板敷山)、先進地の視察(九月上旬)、講習・講話会の開催

⑥体育厚生部

サイクリング(五月中旬)、フットボール大会(五月中旬)、キヤンパ講習会(七月下旬)、陸上球技大会(八月下旬)、ハイキング(十月下旬)、町民レクリエーション(十一月下旬)、武蔵野大会(十二月下旬)など。

⑦視聴覚部

巡回映画会の開催(年間五回)幻灯会の開催、技術者養成講習会(八月中旬)など。

国保協力者に感謝

全町で百八十五世帯

町では、国民健康保険の振興をはかるため、毎年国保協力者の表彰を行っているが、今年も去る五月二十日より二十三日の三日間、地区毎に支所に集まり、国保への協力に謝意を表し、健康をお祝いして、感謝状と記念品を贈呈した。

①昭和三十三年四月以前より八郷町国民健康保険の被保険者であること。
②昭和三十三年年度保険料を納めたこと。



私たちの住んでいる町や村の福祉(しあわせ)について、町や村がそれぞれに立場において実施してありますが、それだけで充分と言えないことは私達が一番よく知っています。

みんな明るく健やかに

近所に困っている人が居てもそれは町でやることだからといって知らぬ顔はできないでしょう。行き倒れの人があれば、その人達が取り敢えずなんとかしてあげてはならない筈です。老人たちが集って色々な話をしたり、新しい世の中を知

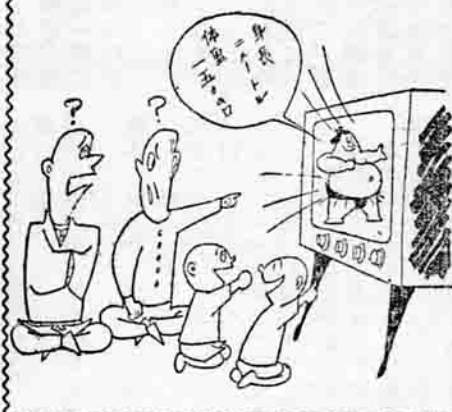
私達のまわりには、法律や規則だけでは解決のつかない色々な問題があまりにもたくさんあることを、皆さん自身がよく知っている筈です。このような事がらを私達の協同の力で、一つ一つ解決しみんなて明るく豊かな町を建



「定刻です、では只今から開会……」

(時の記念日 六月十日)

☆ピンとこない



「わしらも早いとこメートル法をおぼえんことにはなア」

(計量週間 六月一日〜七日)

恋瀬地区(十一名)

青木あき、小沢武男、入江彦市、酒井政雄、岩田操、入江清造、富田清一郎、友部定一郎、蘭部鉄男、藤岡茂、井川みどり

瓦会地区(五十三名)

鈴木ふさ、国谷重左右、菅原たけ、中村喜七、藤井なか、長谷川理一郎、長谷川とき、谷島貞四郎、平岡義章、池田慶四郎、谷島はる、長谷川茂三、長谷川勝一、長谷川恒夫、宮部忠蔵、宮部重、大場熊吉、路川操、鈴木昇、原田英四郎、奥村謙、奥村長吉、奥村哲雄、奥村うめ、藤岡六郎、鈴木かね、稲見祐一、渡辺鉄男、小原原三、秋山結三、加藤正次、萩原近四郎、横田重造、横田正男、萩原茂之助、永瀬直造、野村新吾、吉岡りん、小松崎庄左衛門、久保田道久、比呂栄次郎、杉山忠三、杉山彦一郎、横田静子、滝川栄市、沼尻卯之吉、大場仙之助、林勝三、大場二郎、高橋弥助、稲見善久

園部地区(十三名)

長谷川安之助、山田政男、須藤善一、竹越まさ、桜井久子、阿久津源一郎、川田てる、久保田薫、高桑音三郎、本多きち、真家彦之助、美留町健四郎、長谷川勇三

林地区(十名)

松本国松、竹熊利重、岡崎こと、久保田文江、磯山正賢、小山とみ、額賀なを

全国どこでも

「被保険者証」の使い方

(1)改正前は、町と契約を結んだ医者にのみ、受診証で取扱い、県外の医者ととの契約はごくわずかだったので、契約が結ばれていない医者にいかつた場合は、被保険者の皆さんに一応金額を支払っていただいて、その後に医者の明細書を提出していただいて、県

(2)改正後(昭和三十三年一月一日以後)は、町と医者とが契約するのではなく、医者とが療養関係が都道府県知事に登録しさえすれば、どこの国保で



大塚さく、島田嘉一郎、近藤勇夫

小桜地区(二十名)

山口庸、安達正光、鈴木正石、井みつ、田上ふく、菱沼よし、尾崎亮、西村かゆ、関しん、松延松雄、上林金造、以後崎忠治、坂本幸吉、鴻巣よし、鈴木健明、鈴木民雄、大貫忠蔵、小沢重三郎、飯島倉之助、君山善四郎

モデル地区活動

町の環境衛生係では、町内の十モデル地区と協力して、カとハエの完全撲滅に馬力をかけている。

フォーク講習会

五月十四日、教委と公民館の共催で、フォークダンスの講習会を行った。先生は芦穂二小の安島佐多子先生。(写真①は当日の実況)

役場人事

小幡支所へ 平重三(厚生課) 厚生課へ 堀山丈夫(小幡支所) 五月七日付
依願退職中島仁平(総務課) 五月十六日付
振興主事を命ず 佐藤晴男 農地主事を命ず 柴山 忠 五月二十六日付

小ばなし

盗人の用心に親父、蔵に寝る。それでも盗人来て尖尻を切り、まず一人蔵の内へ入れ、外の一人は持出す道具受取るはずでしやがんでいたら、時に親父、目をさまし、壁に穴あいたは合てんいかずと、件の穴より頭をさし出したるに、外の盗人「ムム葉隠から先か。」